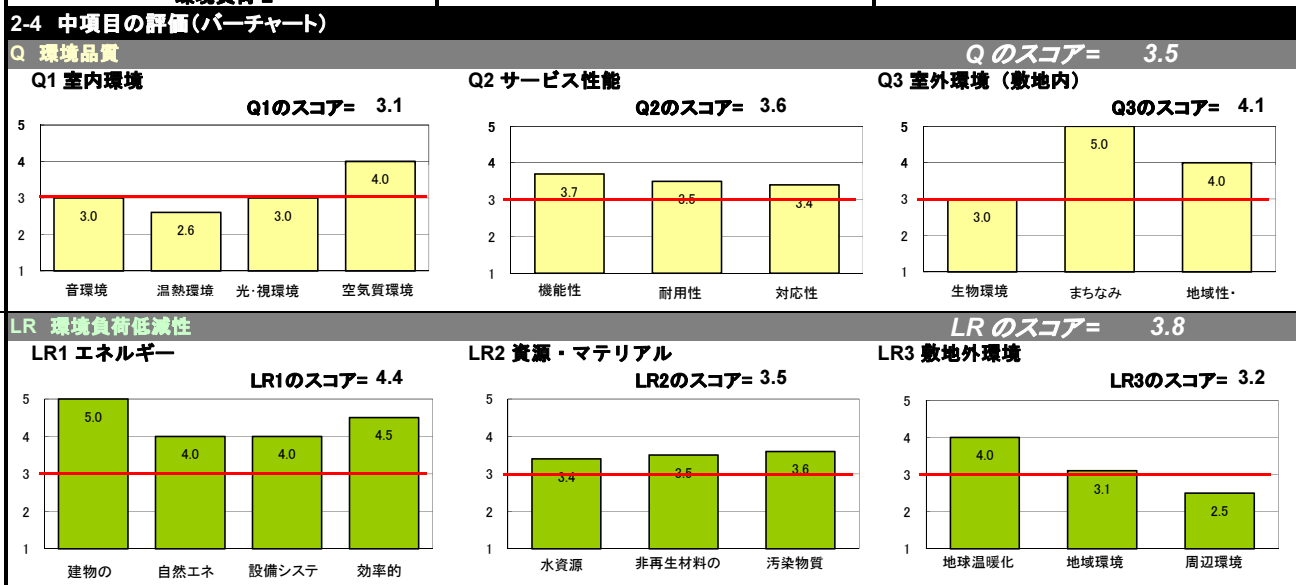
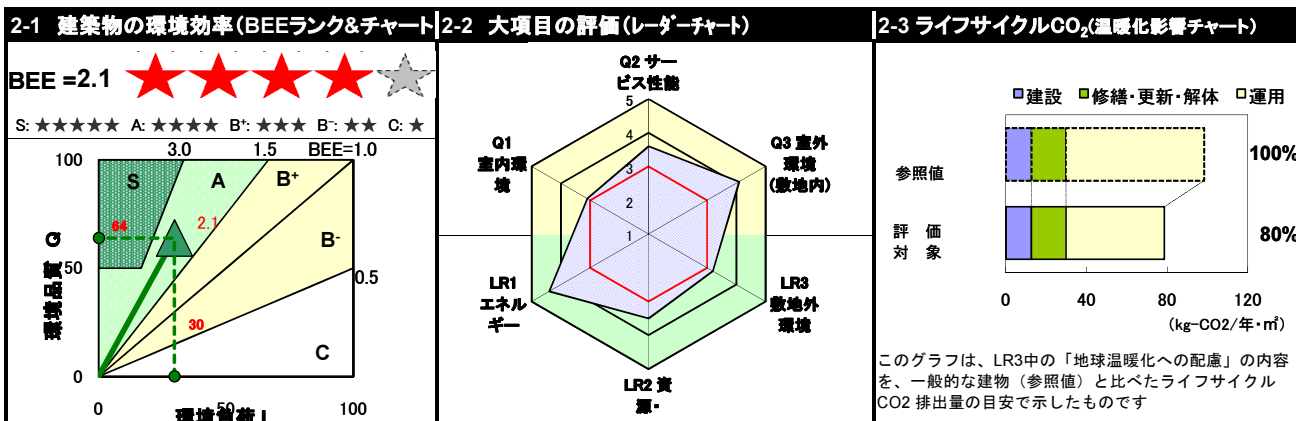


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都市東山区北部小中学校	階数	地上3F
建設地	京都府京都市	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	1,230 人
気候区分	地域区分V	年間使用時間	1,220 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年2月 予定	評価の実施日	2008年7月1日
敷地面積	14,451 m ²	作成者	類設計室 喜田育樹
建築面積	3,980 m ²	確認日	2008年7月5日
延床面積	14,554 m ²	確認者	類設計室 土山惣一郎



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
京都における公立学校として、環境全般にわたりバランス良く配慮した。	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
Q1 室内環境 学校環境衛生基準に準拠した。	Q2 サービス性能 長期にわたり性能を確保できるよう、維持管理のし易さに配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 建物の一部を地域開放し、アメニティの向上を図りつつ学校としての防犯性に配慮した。
LR1 エネルギー オゾン破壊、地球温暖化係数に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 法規制に準拠し、環境維持に配慮した。	LR3 敷地外環境 歴史的な町並みの景観に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される